

まなびの丘 フィールドワーク 約30分

①エントランス(入口) ②カモメ展望所 ③水俣メモリアル

熊本県環境センター
水俣市立水俣病資料館
環境水俣病情報センター
駐車場

駐車場、情報センターからスタートする場合は、①→②→③、環境センター、資料館からは、③→②→①がスムーズです。

エコパーク(かつての水俣湾)

①エントランス(入口) ～橋の上からグラウンド側を見る～

○目の前のエコパーク水俣はかつて海でした。
埋め立てた面積は約58haです。(1977年～1990年)

○14年の期間と485億円をかけて完成しました。

○明神岬は東西に延びて、水俣湾は豊かで穏やかな海でした。

現在のまなびの丘はこの辺り

北

ここが埋め立てられエコパークが完成

エコパーク (埋立地) かつての明神岬と水俣湾

②カモメ展望所 ～海と島々を見る～

○八代海の向こうの御所浦島や獅子島は白亜紀(1億年前)の化石が出るので「恐竜の島」と呼ばれます。

○かつて、水俣湾と外の海を分ける仕切り網が恋路島の外側に張られていました。(1974年～1997年)

○展望所下にはその台座が2つ残っています。

仕切り網 台座

仕切り網 ～1997

八代海と御所浦島

③水俣メモリアル ～水俣病を考える～

○水俣メモリアル設置の目的

- ・水俣病の犠牲となられた方々への慰霊
- ・水俣病の経験をふまえ、悲劇をくりかえさない誓い
- ・水俣病の教訓を後世に伝える

○108個のステンレスボールは「何か」が、海に降りていくようにも丘に登ってくるようにも見えます。あなたにはどのように見えますか？

※スロープ沿いの壁面に崩落の危険性があり、一部、立入禁止となっています。ご注意ください。